

What?

Why?



所長 山本の

# ワイズリレーインタビュー

第45回 エムテック株式会社 取締役副社長 三浦結輝さんに聞きました!

兄弟3人で決意した第二創業。今では、働き方改革にも取り組む企業へと成長。

**Q** まずは業務内容を教えていただけますか?

**三浦** 滝沢市を中心に、元請けで水道管を道路に埋める工事を主とした水道屋さんです。

**Q** 現在に至るまでの会社の歴史を教えてください。

**三浦** 1982年2月に現会長の父が叔父と二人で創業して、一般住宅の給水排水設備の工事を始めました。その時、僕は生後4ヶ月で、創業のきっかけは父が勤めていた会社の倒産でした。昼は知り合いの水道屋さんで働き、夜はタクシーで資金を貯めて開業しました。夢やビジョンを追いかけるといより、家族を食べさせるための超現実的な部分でのスタートだったと聞いています。1992年に有限会社三浦設備工業として法人化して、少し大きな現場を持つために設備投資をしました。翌年には従業員が7名に増え、今メインにしている水道管の仕事も下請けで受注するようになりました。1995年には従業員が27名まで増え、1997年には株式に組織変更して、さらに設備投資をしました。重機も巨大化して工事車両も軽自動車から2トンの大型ダンプへと様変わりしていきました。

**Q** その後も事業拡大していったんですか。

**三浦** それが2000年からがドラマチックで、バブル崩壊の影響で建設業全体が冷え込み、公共工事の縮小や削減で4割ほど工事が減りました。そんな時に色々大変な出来事が重なり、2002年から2010年くらいの間は、今思うだけでも笑えてくる、泣けてくる、苦しい時期でした。例えば、材料を売っていただけないことは日常茶飯事でした。弟に子どもが生まれたので、なんとか弟の給料だけは確保して、この子だけはひもじい思いはさせないように歯を食いしばっていました。2002年に会社所在地の滝沢村(現滝沢市)の下水道工事を初めて元請けとして受注させていただきました。この時、下請けから元請けに変わろうと兄貴と二人で決意したことを記憶しています。2004年には従来の下請け契約も打ち切られましたが、2007年に僕らが一番得意とする水道管の本管工事を滝沢村か



経験した苦労は「勉強代」として捉え、社員のためになる懐の深い経営をしている三浦さん。



ら初受注し、徐々に経営が楽になっていきました。やがて震災を経て、復興工事がひと段落した2012年に「僕が会社をよくする」と母にお願いして500万円ほどを借りて、1年間、大阪で勉強してきました。このOJT(外部研修)は僕の経営者人生の中で大きなターニングポイントになりました。2013年に長年の融資の返済目処がついたので、兄に代表交代して僕は副社長になりました。それから現在までは増収増益で、微増ですが地に足をついた経営をしています。おそらく給与水準で見ると一般建設業の県平均よりはかなり高く払えていると思います。弟は経営革新で県の認定を受けたBtoCの水道事業を専属でやっています。

**Q** 他社と違うセールスポイントを教えてください。

**三浦** 数年前から取り組んでいる働き方改革です。今までは長く働いた分だけ残業代を出してはいたのですが、「これからはそうじゃないよ」と伝えていまして、従業員一人一人の基礎力を上げる取り組みをしています。うちは年間400万円くらいを教育費に割いて、専門的な資格はもちろん、経営的なスキルやノウハウを全員で勉強しています。従業員は14名ですが、みんな生真面目さがありますね。それと、どちらかと言えば建設業は思考もプロダクト的ですが、うちの従業員はユーザー側の考え方を持って仕事に当たっていることも他と違うポイントだと思います。

**Q** この仕事の魅力はどんなところに感じますか?

**三浦** 水道の維持は、実はものすごく大変です。当



## エムテック株式会社 取締役副社長

### 三浦 結輝 (みうら・ゆうき)

1981年生まれ。家業を手伝うために、2000年に入社。様々な困難を経て、2015年10月、第二創業の形で兄の朝之さんと弟の拓摩さんの3人で新体制を構築。現在は岩手県商工会青年部連合会の会長も務め、精力的に活動中。趣味はゴルフ。

「職人として最高にかっこいい」と三浦さんが話す現会長の技術力を受け継ぎ、モットーは「確実」「迅速」「美しく」。



株式会社 利宏商事 / 株式会社 Stairs 代表取締役 利府宏弥 さんからのご紹介

たり前にあるものをみんなの知らないところで支えていることが魅力だと思います。一人のお客さんを思うこともあれば、地域という大きなくりで仕事に役立っていることもあるので、社会的にも価値の高い仕事だと思います。表立ってはいませんが、ライフラインを支えられていることは誇りです。そして、今まで苦労して水道を整備してきた先人の存在を思うと、水道という歴史にも感慨深いものがあります。

#### Q 自分なりの勉強や情報収集の方法はありますか？

三浦 OJT です。決算書的にも社会的にもいい経営をされている方から学ぶようにしています。あとは必ず月に1冊本を読んだり、年に1回は多摩大学の講義を1日受けて日本や世界の経済動向を学んだり、超一流と言われる方のセミナーを聞きに行ったり、ルーティンで決めていることがあります。岩手県商工会青年部連合会の活動を通じて、全国の経営者のお話が聞けるので情報収集も常に意識しています。

#### Q 商工会に入られたきっかけを教えてくださいませんか？

三浦 僕は学生時代にあまり勉強してこなかったのですが、仕事を始めて勉強の大切さを痛感しました。勉強しないと会社ってよくならないんですよね。がむしゃらに勉強していた時期があったのですが、滝沢を車で走っていて「やあ」と手を振れる友達が少ないことに気づいたんです。友達がほしいなと思った時に紹介されたのが滝沢の商工会でした。そこで先輩達に、真面目だけではだめ、ふざけすぎるのもだめ、と両方を教えてもらったんです。人間としての振幅と言いますか、砕けるところは砕ける、真面目にスイッチを入れるところは入れる。人と付き合っていくには、合理的なことばかりだけ追い求めても仲良くなれないし、全てうまくいくわけではないと思いました。おかげさまで今では、頼りになる先輩や頼もしい後輩ができてありがたいなと思います。

#### Q 会社としての目標をお聞かせください。

三浦 一つは、「ありがとう」が岩手で一番集まる会

社にすること。二つ目は、従業員がこの仕事を通じて自分自身を磨いて、自分の人生をプランニングできるようになること。三つ目は、地域社会にとって存在意義のある会社であり続けることです。

#### Q 個人的な目標もお聞かせください。

三浦 ハーレーがほしいなと思ったりもしますが、今の僕の目標は会社の目標を達成することです。それとカンボジアからの技能実習生がいるのですが、母国は就職難なので、彼らの就職をつなぐ活動をコロナが収束してからやりたいと思っています。僕の中での目標ですが、会社の目標に変えていきたいです。

#### Q 仕事をする上で大切にしていることはなんですか？

三浦 一つは、僕らの技術を通して、お客さんに喜んでもらい、満足してもらうことです。二つ目は、自分事より他人事に重きを置いて仕事をするということです。例えば、この人苦手だな～、こういう取材も苦手だな～と思うことがあっても、「やだな」と思っているうちは自分事だと思うんです。誰かのためだったり、会社のため、自分自身を成長させるためだと思うと、嫌だなと思うことほど、率先して準備に取り組むようにしています。

#### Q 最後に好きなタイプの芸能人を教えてください！

三浦 中村アンさんです。大人の女性の魅力的な部分があると言いますか、真面目そうですし。そんな女性に出会ってみたいという願望なのかもしれません。

#### ◎ 本日はお忙しいところありがとうございました。

弟さんが専属の「住まいRe: (スマイリー)」事業では滝沢市や盛岡市を中心に一般家庭の水回りトラブルをサポートしています。



滝沢市葉の木沢山 308-39 ☎ 019-688-0050  
<https://www.msk-mtec.com>

